

# 笠間に息づく匠人

しょうじん

市内には、それぞれの分野で匠（職人）といわれる方がいます。このコーナーでは、技を極めその技を次代に継承していくため日々精進している方を紹介します。

すずき しげる  
鈴木 繁さん（吉岡）手工芸 竹細工



行楽用弁当入れを作製する鈴木さん

20歳の時に家業を継ぎ、籠屋を営んでいた鈴木さん。プラスチック製品の台頭により需要が減少すると、会社勤めながら趣味として花籠などの竹細工を始める。指先の感覚で材料の厚さや硬さを見極め、繊細に編み上げられた作品は、日本手工芸美術展などの展覧会で数々の賞を受賞。

退職後は再び籠屋として背負いかご、ざるなどの実用品のほか、壁掛けや衝立などさまざまな作品を製作している。

また、イベント会場での竹細工教室や夏休み工作体験、竹工芸教室の講師としても活躍中。伝統文化を支える一人として、「手工芸のすばらしさを次代に伝えていきたい」と話していました。

鈴木 繁さんの  
作品を紹介



## 電気スタンド

「やたら編み」工法により製作された作品。硬い竹を折り曲げ、成形する作業が一苦労という。



## 花籠

色の違う竹材を丹念に編み上げた花籠。鈴木さんの得意とする作品の一つで、多く人が愛用している。

# 店報ギャラリー

## 「大っきい貝 採ったどー」 (中央)M

市内の池で、どぶ貝を発見しました。



▲待望の高速バス(笠間⇨秋葉原駅)！6月1日からついに運行開始！オープニングセレモニーには笠間のいな吉も駆けつけました。乗り換えなし＆約2時間で秋葉原駅へ直行です。ぜひ、ご利用ください。

このコーナーでは、皆さんのお気に入りの作品を紹介しています。絵画・書道・俳句・短歌・写真(風景・人物・ペットなど)などの作品を募集します。必ず、住所・氏名(ペンネームの場合、本名も併記)・作品名を記入し、お送りください。掲載させていただいた方には、薄謝を進呈します。

【申込み・問合せ】秘書課広報広聴グループ(内線225)



## 「まだまだ元気」 (八雲)

ちゃん太

大正6年生まれのおじいちゃんは、今でも栗の木の剪定やマイモ堀りをひとりでやっってしまう、とっても元気なおじいちゃんです。